※令和４年度以降入学生用

学校番号	1207

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	実践国語Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	国語表現ナビ（株式会社浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の主張の合理性が伝わるように、適切な根拠を用い、論理の展開を考えるなどの工夫を行う。様々な題材に対し、自分の思いや考えを論理的に書いたり説明したりするため、作文やグループワーク、プレゼンテーションなどを取り入れます。

２　学習の到達目標

国語を適切に表現し理解する能力を育成するとともに、言語感覚を磨き、国語に対する興味関心を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自分の思いや考えを表現するため、漢字・語彙力を豊かにし、文章力をつける。	自分の主張の合理性が伝わるように、適切な根拠を用い、論理の展開を考えるなどの工夫ができる。様々な題材に対し、自分の思いや考えを論理的に書くことができる。	授業の中で意欲的に発言やグループワークなどに取り組み、日々の授業にて学習したプリント等の課題をその時間中に完成させることで、学習習慣と学習内容を確立している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

月 学	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法

※令和４年度以降入学生用

			知(a)	思(b)	主(c)
通年	原稿用紙の使い方、作文を書く ［教材］ 国語表現ナビ	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。原稿用紙の正しい使い方が身についている。 b［ 書 ］：人生や政治経済、国際問題、環境問題など多岐にわたるテーマについての論説を読み、自分の感想を言葉で表現している。 c：与えられた文章を積極的に読み、それについて考えようとしている。他者の感想を自分の感想と比較し、否定することなく味わおうとしている。	プリント	プリント 作品	出席状況 参加状況 作品
	ことばの使い方を学ぶ ［教材］ ことばと遊ぶ、カタカナーシ	a：社会生活の中でよく使われているカタカナ語（和製英語を含む）を知り、正しく扱っている。 c：自ら進んで教材に触れ、ゲーム展開のための役割を把握し、こなそうとしている。	プリント	プリント 課題	出席状況 参加状況
	手紙の書き方 ［教材］ 手紙の書き方講座	a:改まった手紙の正しい書き方を理解し、実践している。 b［ 書 ］：見本の中から適切な言葉を流用したり、自分で考えた文章を当てはめたりして手紙を完成させている。自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成。展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：自ら進んで手紙の書き方を学び、実践しようとしている。	プリント	プリント 作品	出席状況 参加状況
	詩歌の創作 ［教材］ 国語表現ナビ	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b［ 書 ］：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：修辞法を取り入れた短歌を創作しようとしている。	プリント	プリント 作品	出席状況 参加状況
	取材とスピーチ ［教材］ 国語表現ナビ	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b［ 話/聞 ］：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：取材先を適切に決め、事前に考えた内容を漏らすことなく取材している。	プリント	プリント 発表	出席状況 参加状況

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	文学作品鑑賞 ［教材］ 青空文庫ほか	a：我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[　読　]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：自分で鑑賞する作品を選んでいる。作品について抱いた感想を、シーンと連動させながら他者に伝えようとしている。	プリント	プリント 作品	出席状況 参加状況
	情報の精査と討論 ［教材］ 国語表現ナビ	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。推論の仕方を理解し使っている。情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。 b[　話/聞　]：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や信仰など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c：自ら進んで文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけようとしている。相手の論を最後まで聞いてから自分の論を展開している。	プリント	プリント	出席状況 参加状況
	はがきの書き方 ［教材］ 手紙の書き方講座、「はがきでごめんね」実施要項	a：自分の考えや思いを的確に表現出来る短い言葉を探し出し、扱っている。 b[　書　]：言葉選びだけでなく、色や絵、文字の配置や大きさで感情を伝えている。 c：課題の主旨を理解し、自ら進んで「フランクな謝罪」を完成させている。	プリント	プリント 作品	出席状況 参加状況

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　１５　）時間